

令和2年2月7日 部長会議 会議録（要旨）

- 日 時 令和2年2月7日（金）午前9時～午前11時10分
- 会 場 市役所 応接会議室
- 出席者 市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、市民環境部長、健康福祉部長、次世代支援部長、経済部長、建設部長、議会事務局長、教育部長、総務課長、総合政策課長、財政課長、秘書広報課長、環境課長、総務課庶務係長、秘書係長、環境課環境推進係長

1. 開 会

2. 市長訓示

- 災害関係の予算総額が約80億円となる。令和2年度は職員が過重労働にならないようにしてほしい。また、様々な課題に対しては、市幹部が協力して進めてほしい。

3. 会議事項

（1）庁用バス利用負担金の徴収について【総務部】

◆説 明

- 庁用バスについて、令和元年10月まではリースのバス3台と民間バスにより運用していたが、バスの運転手不足という事情もあり、10月以降リース満了後は民間バスのみ運用となっている。
- 今後、経費の増加が予想されるため、各課に事業の見直しを依頼しているが、利用者から負担金を徴収できないか検討したい。

◆主な意見・質疑等

- 金額の設定については、一律いくらではなく、距離に応じて算出するべきではないか。
- 民間バスへの委託で経費が増加してしまうのであれば、バスをリースし、運転手のみを委託する方法に戻せないか。

【回答】民間事業者においても運転手不足により難しい。

◆協議結果

- 委託方法について、経費を抑える方法がないか研究する。
- 負担金の基準を再検討し、算出根拠も明確にする。

（2）令和2年度当初予算（案）について【総務部】

◆説 明

- 令和2年度一般会計当初予算（案）の総額は263億8千万円で、昨年と比較して21億3千万の増となっている。その主たる原因は、災害復旧費で20億円以上の経費が見込まれること。
- 災害復旧費を除くと約243億円となり、今年度の当初予算額242億5千万円とほぼ同額となる。
- 災害復旧事業費は、4号補正予算（専決）、6号補正予算（12月議会追加）、3月補正予算（案）、

令和 2 年度当初予算（案）を合わせて約 80 億円を計上している。

○令和 2 年度当初予算（案）は、災害復旧・復興を最優先にした。引き続き取り組むべき事業は予算化した。後年度に送れる事業は送るというスタンスで予算編成を行った。

◆主な意見・質疑等

○市債は昨年度に比べて増えているのか。

【回答】約 15 億円の増となっているが、このうち約 11 億円が災害復旧債となっている。

◆協議結果

○情報共有。

（3）千曲市復旧計画（令和元年台風第 19 号災害）（案）【企画政策部】

◆説明

○千曲市復旧及び復興計画策定方針について、1 月 28 日(火)までパブリックコメントを募集した結果、4 名の市民から意見をいただいた。結果については、後日、市ホームページで公表する。

○復旧計画と復興計画は別々に策定することとしたが、復旧計画は、市民が通常の生活を取り戻すことや、インフラ等の現状復旧・改良復旧について、よりスピード感を持って対応するために、3 月末には策定できるよう進めている。

○復旧の対応状況や復旧未了箇所の今後の見通しを、2 月 13 日(木)までに担当課から報告願いたい。修正した復旧計画（案）を、2 月 18 日(火)に市議会議員に配布し、3 月議会中に「総合計画及び公共施設再編特別委員会」を開催していただきながら、議員からの意見を集約する。そして、3 月末の部長会議において最終協議し、承認いただければ公表したい。

◆主な意見・質疑等

○復旧計画は、いつ頃までに対応するのかを示すことが大事になる。

○ハザードマップは 1,000 年確率と 100 年確率がある。どちらを基に考えるのか。

【回答】千曲川流域関係市町村と連携し調整したい。

○ソフト事業が弱い気がする。令和 2 年度当初予算に計上した事業やガイドブックの支援策が掲載されているか確認してほしい。目に見えない心のケアについても記載してほしい。各課において進めている事業は全て載せてほしい。

◆協議結果

○復旧の対応状況等の報告及びソフト事業の掲載について了承。

（4）令和元年千曲市の人口動態【企画政策部】

◆説明 【資料 1 参照】

○2 月 1 日に令和元年中の人口動態について報道があった。千曲市の総人口は、令和 2 年 1 月 1 日現在で 59,100 人となり、昨年から 353 人の減少となった。59,100 人という人口は、昭和 53 年頃の千曲市（当時は更埴市・戸倉町・上山田町）の人口とほぼ同じ。

○令和元年中の自然増減は、出生数が 341 人、死亡数が 820 人となっており、479 人が減少している。マイナス 0.8%で、これまでで最大の減少率となった。

○戦後の人口は、1973 年から少子化が急速に進んだが、食料事情や高度医療などによって長寿

命化も進んだ。フローではなくストックによる人口増加が続き、結果的に高齢化率が上昇した人口構成になっている。しかし、2010年以降、人口減少が顕著になった。長寿を全うした方が死期を迎え、多死化への兆しが表れ、大幅な自然減になったと考えられている。次世代は一層の少子化が進むと同時に、2025年以降、団塊の世代が長寿を全うする時代が到来し、人口減少が更に加速すると予想されている。

- 社会増減は、126人の増となっており、県内では安曇野市、佐久市に次いで転入超過になっている。
- 千曲市人口ビジョンに基づく総合計画、総合戦略の目標人口について、年次ごとの推移としては、目標ラインを上回っている。今後も目標ラインを上回るためには、出生率の上昇が必要になってくると同時に移住・定住施策も重要になってくる。
- 区・自治会別転入者数では、千曲線沿線への転入者が多く、川西地区は転入者が少ない状況となっている。
- 千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略の第1期の対象期間は2019年度までとなっている。5年間の総括は、新年度早々にまとめる。この人口動態の結果を踏まえて、各課における戦略事業の現状分析や仮説検証を行い、次期計画に盛り込む内容や方向性の検討を進めてほしい。

◆主な意見・質疑等

- 多死化のピークはいつになるのか。

【回答】2040年がピークと予想している。2025年から2040年までは75歳以上人口が横ばいで、2040年から減少していく。現在の人口減少の原因は死亡数が多いことで、2040年以降は少子化が人口減少の原因となる。出生数と死亡数が同じくらいになればよいが、インフラを広げてしまっているもので、そこが問題になる。

◆協議結果

- 了承。

(5) 千曲市気候非常事態宣言について【市民環境部】

◆説明

- 昨年10月に発生した台風19号が、甚大な被害をもたらしたことにより、12月6日に長野県が「気候非常事態宣言」をされた。
- 12月19日(木)には、千曲市議会において「気候非常事態宣言」をすべきであると決議があったため、千曲市においても「千曲市気候非常事態宣言」を公表する。

◆主な意見・質疑等

- 公表時期・方法や市議会への説明はどのように考えているか。

【回答】公表は3月議会の冒頭でと考えていたが、再検討・確認する。

◆協議結果

- 了承。

(6) 令和元年度女性の公職参画状況【健康福祉部】

◆説明

- 平成31年4月1日現在で、千曲市の女性の公職参画率は26.7%となっている。ここ数年で少

しずつ参画率は上昇している。なお、令和2年3月31日現在では27.6%となる見込み。
○令和2年度中に委員の改選が予定されている審議会等においては、少しでも女性が公職に参画できるよう配慮していただきたい。

◆**主な意見・質疑等**

- 参画率が20%以下の審議会等は、特に改善をお願いしたい。
- 潜在的に活躍している女性を把握し、庁内で共有してほしい。
- 目標値の40%以上になるように、人選の原案を作してほしい。

◆**協議結果**

- 来年度に改選となる審議会等や参画率が低い審議会等は、女性の参画が進むよう取組む。

(7) 新型コロナウイルス感染症について【健康福祉部】

◆**説明【資料2参照】**

- 県への相談は、1月14日(火)から2月4日(火)までで、667件となっている。
- 市の相談窓口へは、マスクや消毒液が購入できないことについて問い合わせがあるが、有病者や症状等についての相談は入っていない。
- 国では対策本部会議を6回、長野県では2回開催している。千曲市においては、県内において感染者が出た場合に、対策本部を設置するか改めて協議したい。

◆**主な意見・質疑等**

- 昨日、市長会定例会で県から説明があり、中国における感染者は24,324人、タイが25人、韓国が16人、オーストラリアが13人、ドイツが12人となっている。県の対策は、今のところ注意喚起が中心となっている。

◆**協議結果**

- 情報共有。

4. 各部長からの報告事項等（主なもの）

【総務部長報告】

- 最近、消火栓や施設案内の看板が、ポールの腐食により倒れるという事案が続いている。各部において所管する施設の点検をお願いしたい。

【企画政策部長報告】

- 地域要望書について、2月6日(木)付けで各区・自治会へ回答した。区長・自治会長から、各課へ協議の申し出があった場合には、対応をお願いしたい。

【健康福祉部長報告】

- 災害義援金の1回目の配分を2月19日(水)に振込により行う。

【次世代支援部長報告】

- 更埴子育て支援センターと杭瀬下保育園の災害査定が、2月25日(火)に行われる予定となっている。

【経済部長報告】

- 旅館ホテル復興支援事業の補助申請数が、2月5日(水)現在で166件となっており、順次補助金を交付している。
- 台風により落下した果実を、加工用に出荷する際の段ボールについて、市単で補助金を交付する。
- 中小企業庁の補助金を活用し、商店街の賑わい創出事業を行う。「孤独のグルメ」の原作者の久住さんのライブと、山口洋子展示館において「湯けむりカラオケのど自慢大会」を、旅館組合連合会を中心に開催する。
- 被災中小企業へのグループ補助金については、1月23日(木)で第2次分がメ切になった。千曲商工会議所では、8社からの応募があり、グループを構成して国へ申請済み。戸倉上山田商工会では、3社から応募があり、同じくグループを構成して国へ申請済み。
- 持続化補助金については、千曲商工会議所では13社、戸倉上山田商工会で5社から申請があり、国に順次書類を提出している。
- 市単独の事業継続奨励金については、持続化補助金の対象となった企業に交付する。

【建設部長報告】

- 千曲川整備計画について、3月9日(月)を目途に変更を行う。千曲市分では遊水地が新たに追加される予定となっている。詳細情報が入ったら改めて報告する。

【教育部長報告】

- 更埴文化会館の復旧工事の国庫補助金について、佐久市と一緒に県庁で打合せを行った。具体的な方向性は出ず、県から国へ話をしてもらうことになった。今後の状況を見ながら進めていきたい。
- ハンガリーの女子卓球団体チームが、ヨーロッパ選手権で好成績を収め、東京オリンピックの出場を決めた。

5. その他

(1) 職員の運転マナー注意喚起について

◆説明

- 過日の職員が起こした交通事故の懲戒処分を受けて、全職員に改めて条例、指針や安全運転講習会資料を読んでいただくよう依頼した。各部の職員がしっかり読んだことを確認出来たら、総務部長へ報告をお願いしたい。

(2) 長野県市長会定例会での情報について

◆説明

- 県ではスマート自治体推進事業の中で、単純労務については職員を減らすため、AIのロボット化に取り組む。その他、テレワーク、テレビ会議、ペーパーレス会議、クラウドサービスの活用等にも予算付けして進める。
- 高齢者ドライバーの免許返納について、県ではドライブレコーダーを活用した交通安全教育を

実施したり、定額タクシーのモデル事業を行ったり、住民相互の助け合いによる輸送サービスの構築ができないか調査を行ったりする。

○担当課にも個別に情報は入ると思うが、アンテナを高くしてほしい。

6. 閉 会